

一般飲食店における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	炊飯された米を炊飯器から保温ジャーに移す為炊飯器の内蓋を持ち上げて移動する際に、隣に置いてあった炊飯器のガードに右手人差し指の第二関節部分をぶつけ、切創を負う。	44	—
1	15~16	洗い場作業を行っていたが、排水枡のフタが開いていて、落ちてしまった。今後、フタが落ち易い状態となっていたため修理し、危険箇所を放置しないようにする。	30~29	10
1	18~19	客席からベルが鳴り、慌ててバックから移動しようとした際に、バランスを崩したため左手を壁に付いた所、左手薬指を反るような形で突き指し、第二関節骨折を負った。	51~29	10
1	20~21	被災労働者が、店舗からテナントゴミ捨て場へゴミを捨てに行く際、フロアに置いてあった催し物用に搬入されていた鉄のコンテナに右大腿部を強打し被災した。	47~29	10
1	1~2	バックルーム清掃作業中に、急いで煮肉をしなければいけなくなり、牛肉をとるために冷蔵庫に入り、出て来たときに下水に左足がはまって強打し、その後立てなくなり、左足首、左足甲が腫れ上がって出血し、動けなくなった。	41~29	10
2	10~11	調理場にて、スチームコンベクションオーブンの鉄板を持ち運んでいる時、スライド台に乗っている台下炊飯器が収納しきれておらず半分飛び出していた為、左足を引っ掛け転倒し、右膝内側側面を炊飯器台の角に強打し打撲する。	57	—
2	20~21	厨房内鍋場で炒飯を調理し急いで餃子場に戻る時、焼いていた餃子を焦がすと思い慌てていた為、誤って保温ジャーの台（ステンレス製）の角に足を強打した。左	63~	50

		膝打撲となる。		99
2	12~13	店内ホールで、オーダーを厨房へ通しに戻っている時に、小走りで段差を勢いよく左足で着地した時に左ひざに痛みがはしった。	54	—
2	17~18	レストラン店内のメインの従業員の通路で本人と他の従業者が狭い通路をすれ違いざまに引っ掛かった形となって、本人が転倒して右膝と左の肘を床面で強く打った。夜のピークに差し掛かる前の時間帯で従業員が忙しく動いている時間での事故となった。	61	50 ~ 99
2	15~16	店厨房内の清掃業務に従事中、後退りしながらブラシで床を清掃していたために、ステンレス台に気が付かず左手小指がステンレス台の角に当たり負傷した。	52	1~ 9
3	23~24	レストラン店舗内、閉店準備作業中にお客様が席を立とうと椅子を引いたときに避けきれず、椅子の足にぶつけて左足の小指と薬指を骨折した。	61	10 ~ 29
3	14~15	印刷機の調整中に印版に付着した異物を取り除くために、回転中の印版に触れた手が誤ってインキ転昇ロールとの間に挟み込まれ指の先端部分が断裂した。	43	10 ~ 29
3	14~15	店内にて、厨房から休憩室に行く下りの階段の手前で、バットを移動中、すれ違う人を避けようとしてバットが壁に当たり、反動で脇腹を打ち左肋骨を受傷した。	33	30 ~ 49
3	20~21	食器を下げ急いでテーブルの拭き上げに戻る途中、のれんで前が見えず、棚のコーナーに左足ひざ上5cmの部分をぶつけた。	45	10 ~ 29
3	11~12	レストラン店舗外を清掃中、フェンスにあるごみを取ろうと70cmぐらいのコンクリートの段に乗り、ゴミを取って飛び降り、着地した時に骨折した。	64	30 ~ 49
3	14~15	カウンターでお会計をされていて、伝票を所定の伝票刺しに刺そうとし、指（左手人差し指の爪下ぐらい）に刺さった。	21	10 ~ 29

3	22~23	レストラン店舗内キッチンにて、ホットの注文が入って急いでおり、シャリの入ったBOXを載せた台車に右足をぶつけ、甲を骨折した。	19	30 ~ 49
4	19~ 20	レストランフロア内でお客様より会計の申し出を受け、伝票をレジに届けようとしたところ通路にフロア係員が立っていた為、その後ろを通りレジへ向かおうとした。フロア係員はお帰りになるお客様が来たため導線を広くしようと1歩後退したところ、後ろを通過した被災者と接触した。被災者は衝撃で左斜め前方に体勢が傾き、壁際に停車させてあった台車下部に左足甲の部分をぶつけ、強い痛みと腫れが生じた。	51	50 ~ 99
4	16~ 17	店内キッチンのフライヤー上部のダクトフード清掃を踏み台に乗って行っていた。清掃後に踏み台から降りる際に足を滑らせ、床に腰を強打し、首下背骨を圧迫骨折した。	48	30 ~ 49
4	10~ 11	通路で従業員が米（重量30kg）を持っていた際、右に米を移動した時に従業員（被災者）に気がつかずふり向いて衝突した。はじき飛ばされ転倒し、左手をついて骨折した。	64	10 ~ 29
5	10~ 11	キッチン内で清掃中、グリドルから降りた際に着地に失敗し、右膝の前十字靭帯の断裂および半月板損傷を負った。	47	10 ~ 29
5	11~ 12	大きい寸動鍋でソース作りをしている時、鍋を持って急ぎ足で厨房内を移動したため、下水を流す排水溝の蓋を踏んで蓋がずれて外れ、排水溝に左足が落ちた。	37	10 ~ 29
5	19~ 20	厨房内の冷蔵庫上部の荷物を取る際、バランスを崩してホワイトボードに手をつき、右手掌を負傷した。ホワイトボードは以前より、過度のプラスチックが破損し、少しめくれた金属部分がむき出しになっていた。	20	1~ 9
5	15~ 16	入口脇付近において、オープンテラス席の設営中、近くに装飾してあった地引網に木製扉が引っ掛かってしまい、それを外そうとしたはずみで右手の甲を扉に強打し骨折した。	28	1~ 9

5	10～ 11	エントランスの清掃作業中に階段で足を踏み外し、転んで頭を打ち血を流して倒れていた。	68	—
5	9～ 10	開店準備のため、客席内にてカウンターの上に上げていた椅子を下ろした際、誤って椅子の脚を左足の上ののせてしまい、左足親指を骨折した。	38	10 ～ 29
6	14～ 15	カウンター内にて、パンの引き出しが開いている事に気付かず、右足を引き出しの下に引っかけてしまい、誤って足の甲を打ってしまった。すぐに治ると思ったが痣と痛みがあり、右足甲を骨折をしていた。	0	10 ～ 29
6	20～ 21	店舗にて、急いで厨房に戻る際、下駄箱に右足小指を激しくぶつけた。この日は、応援で当該店舗に出勤していた。	23	1～ 9
6	13～ 14	店舗裏にあるプレハブ冷凍庫に食材を取りに行き、出ようとした際に扉の裏の非常用の赤色の取っ手に胸部を強く打ち、負傷した。	65	30 ～ 49
7	15～16	店舗キッチン内で、フライヤー清掃を高温のまま行い、バケツ（排水を溜めるための容器）に水を流さず、油の入った寸胴に水を流したため、寸胴を持ち上げて排油缶に入れようとしたときに、油と水が反応し、爆発した。両腕、顔面付近を火傷、救急車で搬送された。	72	1～ 9
7	13～14	清掃するために洗い場の通路のフタを開けていたところ、本人が気づかず片足がはまって体を打ったもの。その後職場復帰した。	63	1～ 9
7	14～15	レストラン店舗内、フロアにて、バッシングの研修を行っていた際、バスタブを運んで、棚に置こうとしたら、よろけて、棚に両足の脛をぶつけて打撲を負った。	23	30 ～ 49
7	8～9	当事業所店舗に於いて、調理場裏の業務用製氷機のストッカーのスライド扉を開き、取出口から氷を取り出そうとしたが、夜のうちにストッカーに氷が貯まり、氷が詰まった状態で氷が取り出し難くなっていたため、右手にしゃもじを持ち腕に力を入れしゃもじで下の方から詰まった状態を解していた時、誤って取り出し口上部の縁に腕を強打し負傷した。	26	50 ～ 99

7	19~20	店内のカウンター付近で厨房にオーダーを伝える際、段差によって足を踏み外して負傷した。	17	10 ~ 29
7	8~9	厨房内のうどん場から天ぷら場へ移動する途中、天ぷら場のシンク前の床が濡れていたため、左足を滑らせた。バランスをとろうとしたが右足も滑り、慌ててシンクにつかまろうとした際、左手をシンクにぶつけて骨折した。	31	30 ~ 49
7	11~12	上記事業場において、レジの釣銭を袋に入れ、2階にある金庫へ運ぶために、階段を上っていた。釣銭を入れている袋（2~3kg）を両手で持っていたため、手すりを持たずに階段を上っていたところ、階段を踏み外し、その踏み外した反動で、右足のふくらはぎに左足のつま先が衝突し、右足のふくらはぎを受傷した。しばらく安静にしていたが、痛みが治まらなかった。	41	10 ~ 29
7	10~11	配送業務で店内倉庫の冷凍庫に冷凍品を収納作業中、4面冷凍庫の上段の扉が閉ま りかけており、冷凍品を持って振り向いて収納しようとした時に、気づかずに勢い 良く右腕をぶつけてしまった。	40	30 ~ 49
7	19~ 20	店内で接客および料理の提供中、客をよけるために座敷から段差をおりた際、不注 意で右足を挫いてしまい、右足小指辺りを骨折した。	59	10 ~ 29
7	12~ 13	終業の作業中躓き、鮮魚のネタケースに手をついた際にケースが割れた。その 際、ガラス片が右手の小指の神経を切断した。	25	10 ~ 29
7	11~ 12	裏の出入口より入った際、足元が水と油で濡れていたために滑り、流し台の足に当 たって骨折した。	70	10 ~ 29
9	20~ 21	帰宅のため当社休憩所の階段を下りている際、頭上にある鉄製の梁に頭部をぶつけ たため、その拍子で階段を踏み外し、床から約1メートルの高さから落下して頭部 を負傷した。	15	10 ~ 29
9	11~	店舗において、下げ膳作業をしていた際、分別ダストに使用後のおしぼりを捨てよ	50	1~

	12	うとしたところ、吊り下げフックに右手薬指小指の間をぶつけ負傷した。		9
9	14～ 15	主催したショッピングコーナー接客研修会場にて受講。研修の途中でグループディスカッションを行うため、同室内にある別の座席に移動しようと椅子から立ち上がった際、主催者から「グループディスカッションは休憩後なので休憩後に席の移動をお願いします。」とアナウンスがあったので、再度着席しようとしたところ、隣に座っていた受講者が本人の了承を得ないまま、自己判断で移動しやすいように椅子をずらした。椅子をずらされた事を知らずに着席しようとしたので、そのまま床に尻餅をつき、反動で自分の椅子の座面に首を強打した。その後、痛みはあったが研修を続け、帰宅。翌日になっても首の痛みが引かないため、病院を受診した結果、第6頸椎棘突起骨折により、自宅安静の診断を受けた。	35	100 ～ 299
9	14～ 15	昼過ぎに肉を持ち上げる時に右手の甲が柱の角に当たり違和感があったが、そのまま仕事を続け、再度同じ箇所をぶつけたときに、ひどい痛みがあり、右手が動かせなかった。	37	50 ～ 99
9	22～ 23	閉店作業で座敷を掃除し、座布団を整えようとして、座敷に左手人差し指を打ち付けてしまった。日がたてば治ると思いそのままにしていたが痛みが引かず物がつかめなため病院へ、靭帯を痛めていた。	38	10 ～ 29
9	14～ 15	当社食堂のプレハブ冷蔵庫から荷物（ダンボールに入った冷凍マグロ3kg）を持って、冷蔵庫の中から庫外へ出る際、急いでいたこともあり誤ってフリーザー密閉ハンドルの受部に右脇腹部分をぶつけてしまい、骨折したものである。	35	10 ～ 29
9	20～ 21	店舗厨房にて、ネタを冷蔵庫に直し立ち上がった時、ラーメンの器を持っていたスタッフと接触し、その際にラーメンがこぼれて右背中にかかり火傷を負った。	17	50 ～ 99
9	7～8	店にて、ドリンクバーの氷を補充した後、オープン前で急いでいた為に周りをよく確認しなかったため、ドリンクバー横にある仕切りに右手を強く打ちつけ、右手小指を負傷した、右手小指が腫れ、痛みが治まらなかったため、勤務終了後に病院へ行ったものである。	55	10 ～ 29
9	15～	厨房内中央の排水溝のふたを清掃のため開けている時、冷蔵庫に保冷剤を片付けるため通った、本人はふたが開いていることは知って注意をしていたが、足が滑り、	40	10 ～

	16	右足首が入り、しりもちをつく形になり右足を捻挫、右ひじを打撲した。		29
9	21～ 22	事業所のパントリ内で閉店作業中にお客様より呼び出しベルがなり、ふり向き様に後方の真空調理機の台にしているビールケースに足の小指がひっかかって倒れた、すぐに腫れたのでシップを貼って対応したが、翌朝病院に行くと骨折していた。	49	10 ～ 29
9	15～ 16	うどんの麺を運搬中に、倉庫から厨房へ移動する際、段差を上がろうとして、足を踏み外し転倒。左第五中足剥離骨折、及び左足ふくらはぎ打撲を負った。	61	10 ～ 29
10	10～ 11	掃除機のホースをまたごうとして、避けきれず足を変にひねって骨折。	43	1～ 9
10	9～ 10	厨房内にて、昼食準備中、チャンパー（冷蔵庫）に入ろうとしたところ、扉が右膝に当たりバランスを崩して転倒し受傷した。	60	10 ～ 29
10	11～ 12	開店準備中に配膳台に手をぶつけた。その後、薬味の盛付のため袋に入ったおろしニンニクを器に絞り出していた際に右手首から人差し指に激痛が走り指が動かなくなった。	52	50 ～ 99
10	13～ 14	店舗内調理場において、洗い場作業中に従業員から裏に物を取りに行くよう指示をされ振りかえり際に足元にあった漂白用水槽に躓き転倒。左膝を床に強打して膝蓋骨を骨折した。	61	30 ～ 49
10	23～ 24	就業場所である店舗内（2階）で、お客様のお帰りを見送る際、急いで走った勢いで柱の角に右足を強くぶつけてしまい、右足小指を負傷した。	50	10 ～ 29
11	21～ 22	大学病院洗浄室にて食器洗浄機を洗浄する為、洗浄水の入ったバケツを運んでいた時、水と油で濡れた床で足が滑り、バケツを両手で持っていたため咄嗟に受け身が取れず、横に置いてあった枠付きステンレス架台の鋭角部に右脇腹を強打し、側後方に転倒した。	41	100 ～ 299
11	17～	バックヤードにあるプレハブ冷蔵庫内で、ネギの入ったケースを出そうとしたところ、冷蔵庫内の壁にケースをぶつけてしまい、衝撃でケースの角が、右側肋骨に当	48	10 ～

	18	たってしまった。数日、様子を見たが、痛みが取れず受診した。		29
11	16~ 17	当社従業員が店内で、資材の運搬中に鉄製ラックに右足の脛を強打した。当日は気に留めなかったが、日が経つうちに腫れ、かさぶたが剥けた後、さらに腫れて痛みが増し、受診したところ、入院治療となった。	49	10 ~ 29
12	19~20	開店直後で少し立て込んで来たので、手洗場から急いでホールに戻ろうとした時、バランスがくずれて右側の壁に右足を強くぶつけ、右足小指に強い痛みが出た。氷で冷やしていたが治まらない為に病院へ行った。	19	10 ~ 29
12	19~20	災害当日、店内で調理作業中に場所を移動しようとした際、他の従業員に接触し、そのまま倒れ、右膝を地面にぶつけ、蓋骨を骨折した。	48	100 ~ 299
12	23~24	店舗内バックヤードゴミ捨て場に向かう際、床に置いてあった粗大ゴミに躓き、反動で左足膝脛骨を折った。	65	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html